

郷土学習セット「1-1 小学生 読み物1」から6冊を紹介します。

11	<p>『アリになったカメラマン』 昆虫写真家・栗林慧』</p> <p>栗林慧／写真・文 講談社</p>	<p>平戸市田平町に住む昆虫写真家の栗林慧のお話です。田平町で過ごした少年時代、カメラに夢中になった青年時代、そして、昆虫が巨大に写る写真を撮りたい思いからカメラを作り撮影する話。カメラの仕組みについても知ることができます。</p>	
12	<p>『おかのうえの カステラ屋さん』</p> <p>堀直子／作 神山ますみ／絵 小峰書店</p>	<p>おかのうえのカステラやさんは、ナナのパパのお店です。ある日、パパが病気になって入院してしまいました。そこで、ナナとナナのママはカステラを焼くのを手伝ってくれる人を募集しました。そこにやってきたのは・・・。</p>	
14	<p>『おばあちゃんのおにぎり』</p> <p>さだまさし／作 東奈菜／画 くもん出版</p>	<p>長崎市出身の歌手であり小説家でもあるさだまさしさんの7歳の誕生祝いの時のお話です。大好きなおばあちゃんのおにぎりのお話は、命のボタンタッチのお話に続いていきます。</p>	
25	<p>『ながさきくんち』</p> <p>太田大八／作 中西啓／解説 童心社</p>	<p>ながさきくんちは長崎市の諏訪神社で10月7日から9日までの間行われる祭礼です。この本は長崎県出身の絵本画家太田大八さんがながさきくんちの迫力ある出し物を15枚の鮮やかな絵に表した絵本です。</p>	
34	<p>『浦上の旅人たち』 (岩波少年文庫)</p> <p>今西祐行／作 岩波書店</p>	<p>明治のはじめ、長崎・浦上で信仰を守りつづけてきた潜伏キリシタンたちは、罪人として各地へ流され苦役をしいられました。彼らはそれを「旅」とよびました。農家の娘たみの人生と、「旅」にまぎれこむ浮浪児千吉の人生がからまりあっていく、歴史的事実にもとづく物語です。</p>	
38	<p>『長崎県の民話』 (県別ふるさとの民話)</p> <p>日本児童文学者協会／編 偕成社</p>	<p>この本には「かなしくあわれな話」「たのしくゆかいな話」「お地藏さんや仏さまにまつわる話」「めでたしめでたしの話」など、長崎県の各市や町に昔から語り継いで来られた話が33話集められています。</p>	